

センター通信

【団塊の世代 パートⅢ】

団塊の世代が最も反応するのが仕事であったが、それに変化の兆しが見えてきた。第一陣の昭和22年生まれが退職した2007年から3年、再就職した人の中には理想と現実の違いに気づき、すでに新たな道を歩みだした人も、再雇用や再就職を選ばなかった人も、ゆるやかな日常生活に慣れてきたところだ。そうなるには、それなりの時間が必要だった。

そもそも会社人間だった人たちが60歳になったからといって、急に趣味人になったり、突然、地味種などという未知の世界で活躍し始めるはずがない。自分はまだ十分働ける、会社に貢献できているところに、突きつけられた定年と言うカルチャーショックに耐え、新しい世界に馴染むためには、それなりのリハビリ期間が必要不可欠であった。

男性の場合、速やかにノンフロンディング出来た人の多くは、何らかの準備をしていた人だ。定年退職で早々にショックに遭遇して、そろそろ、そこから立ち直ってきている人。これからリハビリ期間が始まる人。両方の人たちがおられる。

団塊の世代が本当の意味でリタイア後の活動を始めるのは、定年後直後のリハビリ期間が終わったこれからと考えられる。

日本人の平均寿命は、男性が79.9歳、女性は85.99歳。平均余命はもっと長く、60歳以降の人生は男性でも約23年もあり、定年後の自由時間は10万時間近くある。

これは20歳から60歳までの40年間の平均的な生涯労働時間と同じだ。何かを新たに始めるのに決して足りない時間ではない。この十分な時間をいい意味で持て余して、もそもそと動き出す団塊世代がいることを期待したい。仕事もよし、趣味もよし、地域社会での貢献種よし、コミュニティビジネスよし、起業よしである。何をして悪いということはない。

人口の多いこの世代が動き出すことは、地域社会にも、マーケットにも波紋を投げかけることになる。

【登録団体様紹介】

アンケートからわかる「歩かんね太宰府」

2010秋のガイド付きまち歩き「第7回歩かんね太宰府」は全19コース、延べ40日開催し、多くの方のご協力によって参加者が481名（スタッフ182名含まず）となり無事終わりました。

参加者は60歳代の方が42%と一番多く、60歳以上の方も3分の2を占めており、この傾向は毎回ほとんど変わっておりません。初めての参加者では40%、2～5回目36%、6回以上24%とリピーターの方が増えているようです。太宰府市内からの参加者は34%、福岡エリア（福岡市・糸島市）31%、他の筑紫エリア（筑紫野市・大野城市・春日市・那珂川町）21%と太宰府近郊の方が広報に力をいれている関係もあり多くなっています。



(横社)



(政庁跡)

参加者の満足度も92%と高く、今後はアンケートの意見を取り入れ一歩一歩前進していきます。現在、2011年春の企画に入っています。この活動に興味がある方は、是非参加してください。連絡先は、092-918-3633（支援センター）です。

～ みんなの広場～

12月11日 カウンセリング基礎講座 第5回 《他人の援助を通じ、成長しよう》

『あなたはあなたのままでいいよ。ここはあなたの居ていい場所ですよ。』
教室全体がそんな感じで包まれているからなのか、講座は楽しく居心地が良い。
それは、皆さんのおかげで出来た空間であり、自分もまたその空間の作り手。
「元気になれるから、楽しいからこの講座に来ています」という方も多い。

先生は気さくで明るく、どんな回答をしても受け止めて下さるので、気負うことなく参加できるのもこの講座の魅力だ。また、不思議なことに、参加回数を重ねる度にテクニックが勝手に身についている。講座でよく行うワークに次のようなものがある。

相手の第一印象を肯定的に伝え合う。あくまで印象なので、言われる側は違っていても合っているも黙って聞く。言われる側の時は、これがかなり照れくさい。しかし、気持ちのいいものだ。また、自分の最近の出来事や困った事などをひとりずつ交代で話す。聞く側の時はずっと「ただ聞くだけ」で、口を挟んではいけない。話すときは、どんな話でも皆さんがじっと耳を傾けて聞いてくれるので、ありがたくなってくる。

結果、これらを行うことでカウンセリングに大切な「相手の居場所」が出来るのだ。相手をそのまま認める（肯定的）という行為は安心感を与えることができ、それが実は、「他人の援助」になっており、またそれを行うことで「自分を成長させる事」が出来る。

今では私も、相手を肯定的に観るように心がけ、相手の話をさえぎらずに聴くよう気をつけている。いつもやれているとは言えないが、しっかり心掛けていきたい。

自分の為に、縁ある他者の為に…

【参加者 湯浅 さとみさん】



【講座案内】

日時	講座名	講師等	参加・資料代
2/12(土) 14:00～16:00 206・207号室	カウンセリング基礎講座 第6回 まとめ(フィードバック実習)	吉田 久美子さん	100円
2/19(土), 3/19(土) 15:00～17:00 208号室	防災講座 第51回 災害ビデオ鑑賞 第52回 災害ボランティアセンター 設置・運営(シミュレーション)	酒井 澄彦さん	100円
3/13(日) 13:00～16:00 208号室	実践講座 成年後見制度(高齢者の後見制度の 活用とサポート)	南 武文さん	無料

申込・問い合わせは

「太宰府市NPO・ボランティア支援センター」にお願いします。

太宰府市五条三丁目1番1号 いきいき情報センター 1階

平日 10:00～18:00 土・日曜日 12:00～18:00

(休業日 毎週水曜日、祝日、8月13日～15日、12月28日～1月4日)

電話 918-3633 ファックス 918-3644 担当者 ゆかわ さかき 湯川・榊

E-mail dazaifu-volusen@wish.ocn.ne.jp HP <http://www4.ocn.ne.jp/~volusen/>



「うさぎのように飛び跳ねて頑張ります。」 事務長：財津→年男です。